

令和5年

家計調査概要 福井市の家計

令和6年3月

福 井 県

目次

結果の概要

1 二人以上の世帯の家計の概要	
(1) 支出の動向	1
(2) 消費支出の内訳	1
2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要	
(1) 収入の動向	3
(2) 支出の動向	3
(3) 家計収支の内訳	4
3 消費支出からみた福井市の特徴	7

利用者のために

1 調査の概要	11
2 用語の説明	13
3 家計収支関連図	15

利用上の注意

利用に当たっては、特に次の事項に注意してください。

- ① この調査結果は、総務省統計局において集計した結果のうち、福井市の二人以上の世帯の分をとりまとめたものです。
- ② 調査結果は、農林漁家世帯を含む世帯を集計した結果です。
- ③ 統計数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも計に一致しません。
- ④ この調査は標本調査で、調査世帯は毎月順次交替しています。
福井市の調査世帯は104世帯(二人以上の世帯96世帯、単身世帯8世帯)です。
- ⑤ 調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいと考えられますので参考値として御利用ください。
また、前年や全国の結果と数値を比較するには注意が必要です。

結 果 の 概 要

1 二人以上の世帯の家計の概要

・福井市:集計世帯数 92、平均世帯人員 2.99人、平均有業人員 1.30人、世帯主の平均年齢 63.8歳

・全 国:集計世帯数 7,259、平均世帯人員 2.90人、平均有業人員 1.34人、世帯主の平均年齢 60.2歳

令和5年の福井市の二人以上の世帯の1世帯当たりの1か月の消費支出の概要は、次のとおりです。

(統計表 第1表・第2表・第5表)

(1) 支出の動向

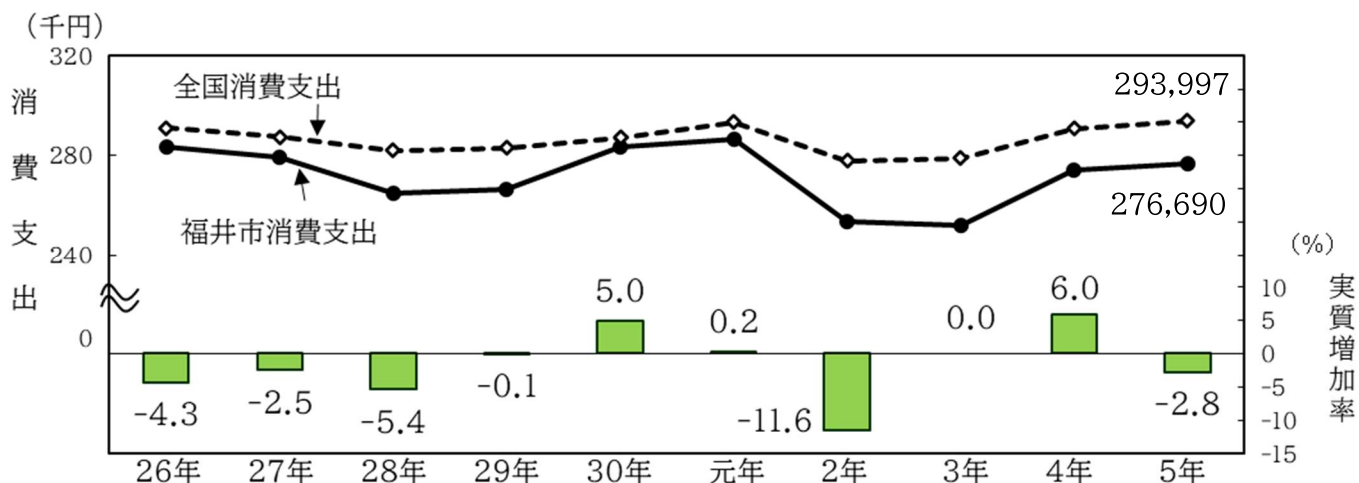
二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均276,690円となり、前年に比べ名目0.9%増加、実質2.8%減少となりました。

また、全国は1か月平均293,997円となり、前年に比べ名目1.1%増加、実質2.6%減少となっています。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、すべての年で全国値を下回っています。

また、実質増加率の推移をみると、令和4年は増加しましたが、令和5年は減少に転じました。

図1 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯)



(2) 消費支出の内訳

① 令和5年平均と直近3年平均(令和3年～令和5年)

二人以上の世帯の1世帯当たりの消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が27.4%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となりました。

また、全国も、食料が27.8%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となっています。

なお、3年平均をみても、同程度の構成比になっています。

表1 福井市と全国の令和5年平均消費支出と3年平均消費支出(二人以上の世帯)

	令和5年平均				3年平均(令和3年~令和5年)			
	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)
世帯人員(人)	2.99	-	2.90	-	2.99	-	2.91	-
有業人員(人)	1.30	-	1.34	-	1.28	-	1.34	-
世帯主の年齢(歳)	63.8	-	60.2	-	62.4	-	60.1	-
消費支出(円)	276,690	100.0	293,997	100.0	267,714	100.0	287,962	100.0
食料	75,825	27.4	81,738	27.8	74,448	27.8	78,324	27.2
住居	13,596	4.9	18,006	6.1	11,387	4.3	18,327	6.4
光熱・水道	29,225	10.6	23,855	8.1	27,190	10.2	23,302	8.1
家具・家事用品	9,496	3.4	12,190	4.1	10,687	4.0	12,081	4.2
被服及び履物	7,709	2.8	9,297	3.2	7,593	2.8	9,037	3.1
保健医療	12,470	4.5	14,645	5.0	11,951	4.5	14,529	5.0
交通・通信	33,336	12.0	42,693	14.5	37,951	14.2	41,264	14.3
教育	7,700	2.8	10,446	3.6	8,441	3.2	11,261	3.9
教養娯楽	25,844	9.3	28,630	9.7	23,639	8.8	26,606	9.2
その他の消費支出	61,489	22.2	52,498	17.9	54,426	20.3	53,231	18.5
エンゲル係数 ^{※1} (%)	27.4	-	27.8	-	27.8	-	27.2	-

※1)エンゲル係数=食料÷消費支出×100

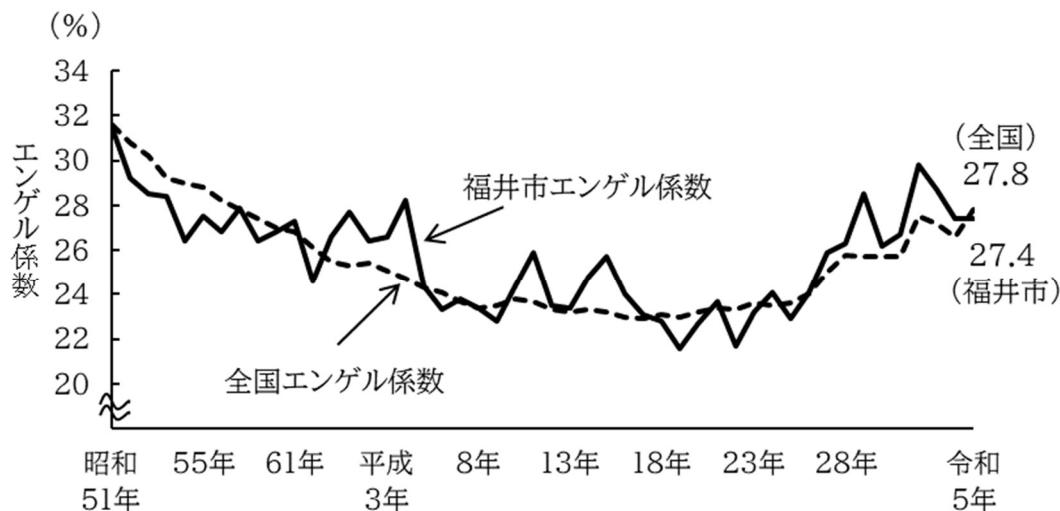
② エンゲル係数

福井市の令和5年の二人以上の世帯のエンゲル係数(消費支出の中に占める食料の割合)は、27.4%と、前年(27.4%)から変化はありませんでした。全国では27.8%と、前年(26.6%)と比べ1.2ポイント増加しました。

福井市のエンゲル係数の推移については、増減は激しいものの平成25年以降は上昇傾向です。

また、全国のエンゲル係数の推移については、平成13年ごろまではおおそ減少傾向にあり、25年ごろまでは横ばいで推移していましたが、それ以降は上昇傾向です。

図2 エンゲル係数の推移(二人以上の世帯)



2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要

・福井市:集計世帯数 41、平均世帯人員 3.40人、平均有業人員 1.90人、世帯主の平均年齢 52.8歳

・全 国:集計世帯数 3,924、平均世帯人員 3.23人、平均有業人員 1.78人、世帯主の平均年齢 50.4歳

令和5年の福井市の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たりの1か月の家計収支の概要は、次のとおりです。(統計表 第3表・第4表・第5表)

(1) 収入の動向

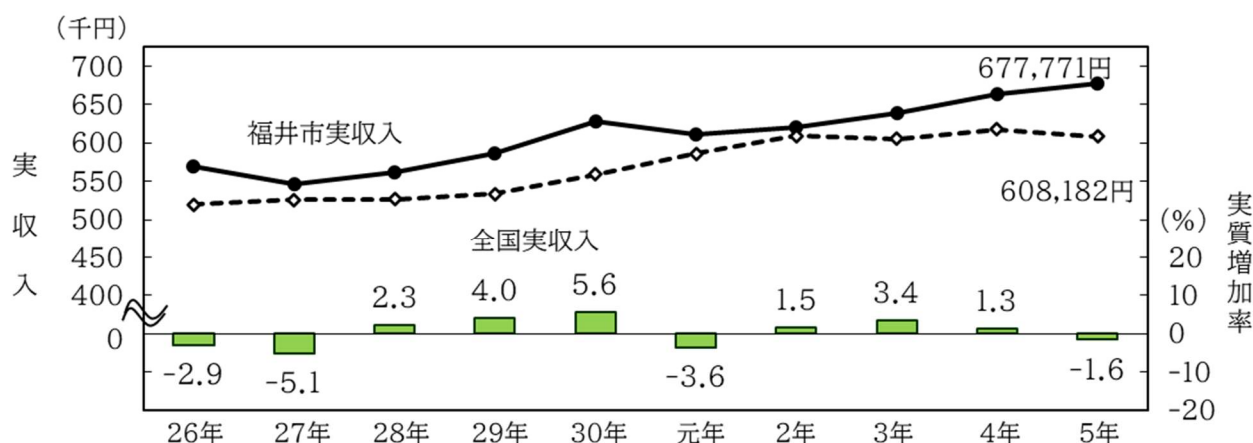
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1か月平均677,771円となり、前年に比べ名目2.1%増加、実質1.6%減少となりました。

また、全国は、1か月平均608,182円となり、前年に比べ名目1.5%減少、実質5.1%減少となりました。

過去10年の福井市の実収入の推移をみると、すべての年で全国値を上回っています。

また、実質増加率の推移をみると、28年以降はおおむね増加傾向で推移していましたが、令和5年は4年ぶりに減少に転じました。

図3 実収入および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



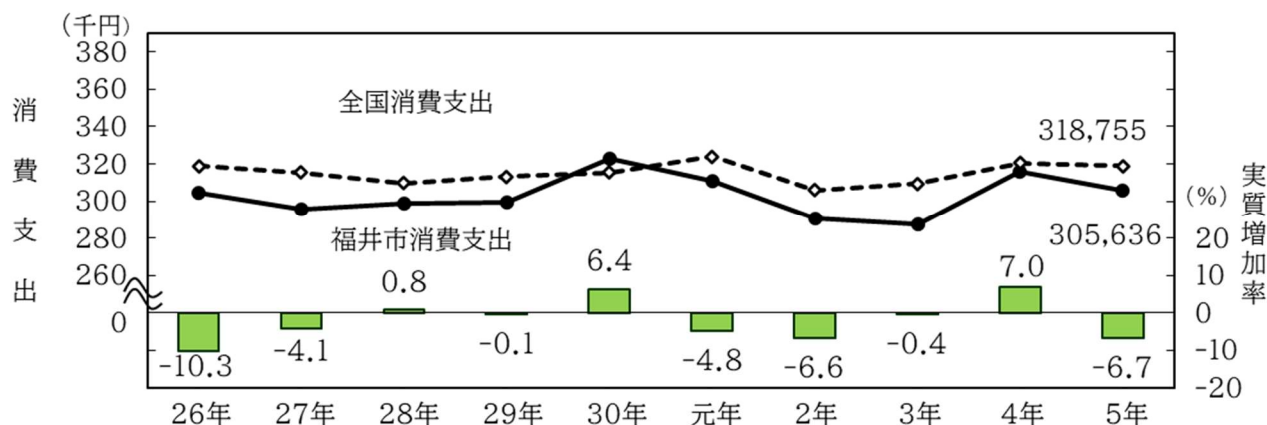
(2) 支出の動向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1か月平均305,636円となり、前年に比べ名目3.2%減少、実質6.7%減少となりました。また、全国は、1か月平均318,755円となり、前年に比べ名目0.6%減少、実質4.2%減少となりました。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、令和元年以降は全国値を下回る傾向が続いています。

実質増加率の推移をみると、令和4年は4年ぶりに増加に転じましたが、令和5年は減少しました。

図4 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



(3)家計収支の内訳

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入の内訳をみると、福井市は、世帯主収入が60.1%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となっています。

また、全国も、世帯主収入が72.7%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となっています。

なお、福井市の実収入は全国平均を上回っており、世帯主の配偶者の収入および他の世帯員収入も全国平均を上回っています。

消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が26.8%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となりました。

また、全国も、食料が26.5%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となっています。

家計収支バランスをみると、福井市の平均消費性向は53.6%と、全国平均(64.4%)を下回っていますが、福井市の平均貯蓄率は44.7%と、全国平均(34.8%)を上回っています。

なお、3年平均をみても、同等の傾向になっています。

表2 福井市と全国の令和5年平均家計収支と3年平均家計収支(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

	令和5年平均				3年平均(令和3年~令和5年)			
	福井市	構成比(%)	全国	構成比(%)	福井市	構成比(%)	全国	構成比(%)
世帯人員(人)	3.40	-	3.23	-	3.43	-	3.25	-
有業人員(人)	1.90	-	1.78	-	1.86	-	1.78	-
世帯主の年齢(歳)	52.8	-	50.4	-	51.2	-	50.3	-
実収入(円)	677,771	100.0	608,182	100.0	660,101	100.0	610,384	100.0
世帯主収入	407,621	60.1	441,862	72.7	421,085	63.8	445,762	73.0
世帯主の配偶者の収入	139,831	20.6	97,670	16.1	126,211	19.1	95,292	15.6
他の世帯員収入	53,691	7.9	15,269	2.5	39,882	6.0	15,542	2.5
その他の収入	76,629	11.3	53,381	8.8	72,923	11.0	53,789	8.8
消費支出(円)	305,636	100.0	318,755	100.0	302,894	100.0	316,284	100.0
食料	81,959	26.8	84,552	26.5	79,344	26.2	81,210	25.7
住居	10,470	3.4	18,971	6.0	12,528	4.1	19,645	6.2
光熱・水道	29,848	9.8	23,566	7.4	27,191	9.0	23,145	7.3
家具・家事用品	11,654	3.8	12,855	4.0	12,080	4.0	12,858	4.1
被服及び履物	10,222	3.3	11,344	3.6	10,194	3.4	11,033	3.5
保健医療	10,081	3.3	13,515	4.2	10,553	3.5	13,451	4.3
交通・通信	42,215	13.8	51,199	16.1	49,729	16.4	50,466	16.0
教育	14,146	4.6	16,838	5.3	14,463	4.8	18,054	5.7
教養娯楽	30,565	10.0	31,149	9.8	27,795	9.2	29,446	9.3
その他の消費支出	64,477	21.1	54,766	17.2	59,017	19.5	56,975	18.0
非消費支出(円)	107,146	-	113,514	-	111,066	-	114,296	-
可処分所得※2(円)	570,626	-	494,668	-	549,034	-	496,088	-
黒字※3(円)	264,989	-	175,913	-	246,140	-	179,804	-
貯蓄純増(円)	255,050	-	171,990	-	223,222	-	169,638	-
平均消費性向※4(%)	53.6	-	64.4	-	55.2	-	63.7	-
平均貯蓄率※5(%)	44.7	-	34.8	-	40.6	-	34.2	-
エンゲル係数※1(%)	26.8	-	26.5	-	26.2	-	25.7	-

※1)エンゲル係数=食料÷消費支出×100

※2)可処分所得=実収入-非消費支出

※3)黒字=実収入-消費支出-非消費支出

※4)平均消費性向=消費支出÷可処分所得×100

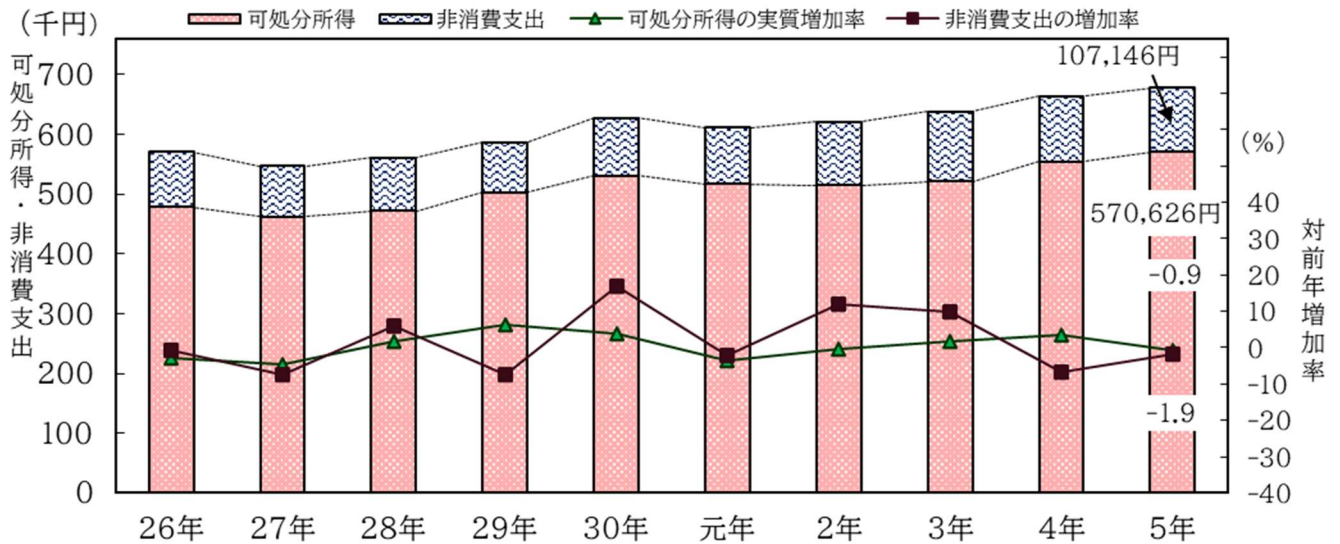
※5)平均貯蓄率=貯蓄純増÷可処分所得×100

① 可処分所得

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の可処分所得は、1か月平均570,626円となり、前年に比べ名目2.9%増加、実質0.9%減少となりました。

非消費支出は、1か月平均107,146円となり、前年に比べ名目1.9%減少となりました。

図5 可処分所得額・非消費支出額および対前年増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

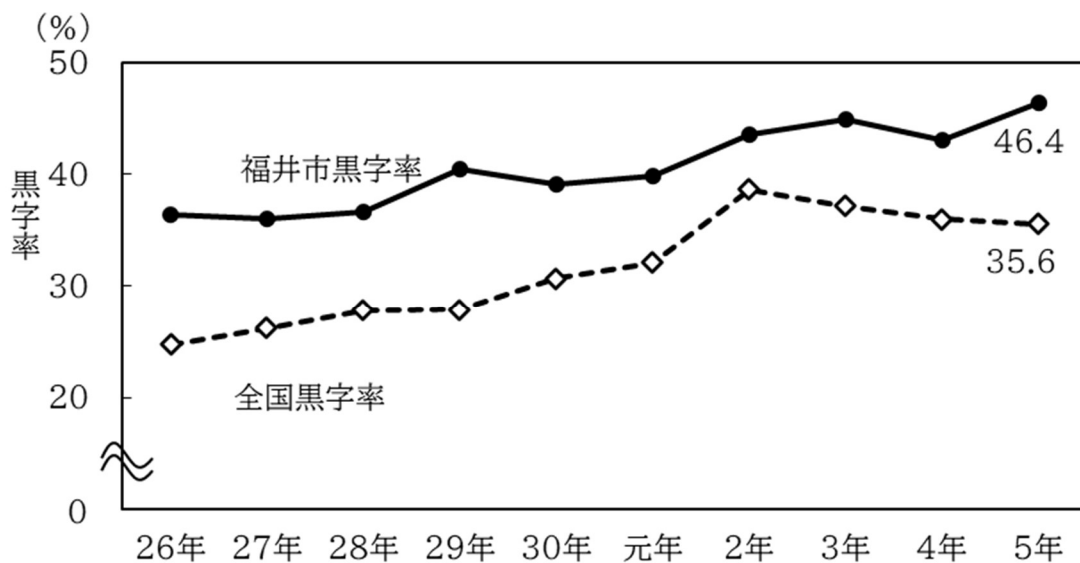


② 黒字率

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の黒字率(可処分所得に対する黒字の割合)は46.4%となり、前年(43.1%)を3.3ポイント上回りました。

なお、全国の黒字率は35.6%となり、前年(36.0%)を0.4ポイント下回りました。

図6 黒字率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



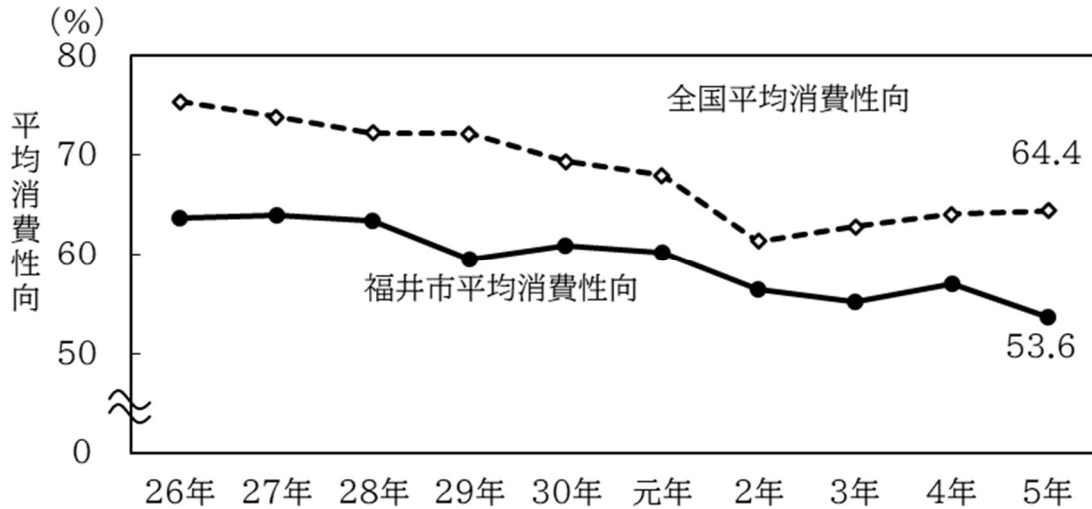
③ 平均消費性向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)は53.6%となり、前年(56.9%)を3.3ポイント下回りました。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向は64.4%となり、前年(64.0%)を0.4ポイント上回りました。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を下回っています。

図7 平均消費性向の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



④ 平均貯蓄率

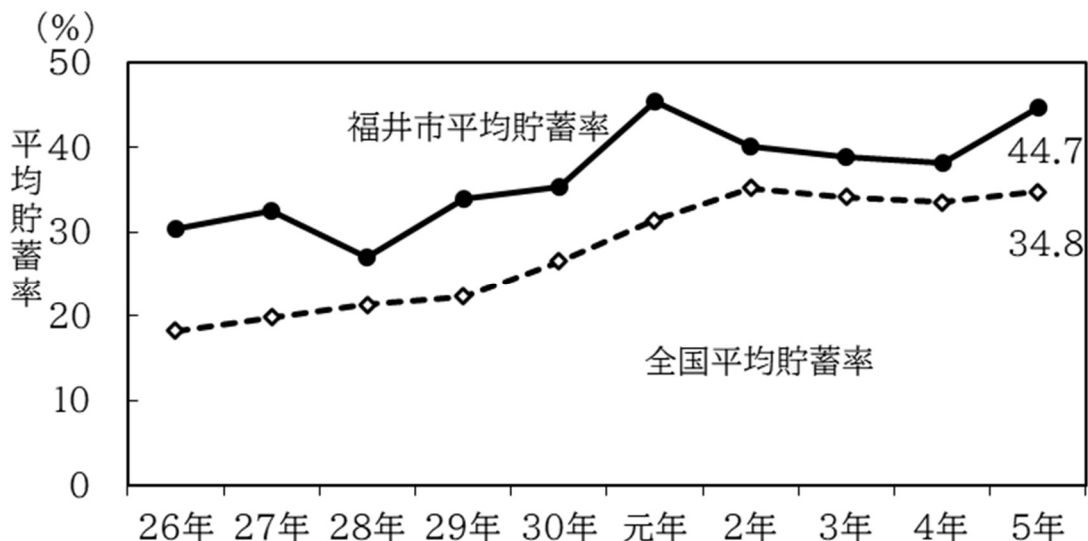
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率(可処分所得に対する貯蓄純増の割合)は、44.7%となり、前年(38.2%)を6.5ポイント上回りました。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率は34.8%となり、前年(33.6%)を1.2ポイント上回りました。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を上回っています。

また、全国および福井市ともに増加傾向にあります。

図8 平均貯蓄率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



3 消費支出からみた福井市の特徴

令和5年の二人以上の世帯の1世帯当たりの品目別年間支出金額における都道府県庁所在市別^{※6}の主なランキングは次のとおりです。

ただし、購入頻度が少ないものに関しては毎年の変動が大きくなる場合があります。金額ベースでの全国平均との比較は統計表第7表をご覧ください。(統計表 第7表)

※6)都道府県庁所在市に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市(都道府県庁所在市以外の政令指定都市)を含む52市

○食料品^{※7}

・「油揚げ・がんもどき」は品目別の集計が始まった昭和38年以降、61年連続1位となっています。

・「コロッケ」、「カツレツ」、「天ぷら・フライ」などの調理済み食品は上位にランキングされています。

※7)外食での支出は含まず。

()内は令和4年の順位、[]内は令和5年の順位

【上位】	1位	2位	3位
令和5年	油揚げ・がんもどき (1)	さしみ盛合わせ (5)	大豆加工品 (6)
	こんぶつくだ煮 (2)	さといも (2)	ようかん (1)
	カツレツ (1)	やきとり (2)	コロッケ (1)
	天ぷら・フライ (1)		
3年平均	油揚げ・がんもどき [1]	もち [4]	大豆加工品 [3]
	こんぶつくだ煮 [1]	さしみ盛合わせ [2]	
	ようかん [3]	さといも [2]	
	コロッケ [3]	こんぶ [4]	
	カツレツ [1]	ふりかけ [15]	
	天ぷら・フライ [1]	やきとり [2]	

【下位】	50位	51位	52位
令和5年	ごぼう (49)	パスタ (38)	小麦粉 (32)
	ココア・ココア飲料 (47)	カップ麺 (45)	たい (33)
	ミネラルウォーター (49)	さんま (46)	豚肉 (50)
	焼酎 (31)	ほたて貝 (40)	油脂 (50)
		粉ミルク (41)	食用油 (51)
		レタス (26)	ドレッシング (38)
		もやし (37)	乾燥スープ (52)
		ケーキ (24)	風味調味料 (30)
		ゼリー (26)	弁当 (51)
		紅茶 (39)	うなぎのかば焼き (37)
3年平均	カップ麺 [51]	小麦粉 [52]	油脂 [52]
	さんま [51]	ピーマン [47]	食用油 [52]
	かき(貝) [46]	つゆ・たれ [46]	ジャム [49]
	ごぼう [50]	紅茶 [51]	乾燥スープ [52]
	ミネラルウォーター [50]	ハンバーガー [52]	弁当 [52]

○食料品以外

・住宅の床面積が大きい傾向にあるため、「電気代」の支出金額が全国上位にランキングされています。

()内は令和4年の順位、[]内は令和5年の順位

【上位】	1位		2位		3位	
令和5年	電気代	(2)	葬儀関係費	(4)	楽器	(22)
	鍋・やかん	(50)	国内遊学仕送り金	(21)		
	国公立中学校	(1)				
	ケーブルテレビ放送受信料	(1)				
	仕送り金	(19)				
3年平均	電気代	[1]	葬儀関係費	[2]	給排水関係工事費	[35]
	国公立中学校	[1]			室内装飾品	[19]
	音楽・映像収録済メディア	[6]			信仰・祭祀費	[5]
	ケーブルテレビ放送受信料	[1]				

【下位】	50位		51位		52位	
令和5年	カーテン	(41)	民営家賃	(52)	家事雑貨	(47)
	男子用ズボン	(49)	都市ガス	(50)	ポリ袋・ラップ	(51)
	子供用シャツ・セーター類	(31)	タオル	(51)	婦人用上着	(6)
	年極・月極駐車場借料	(46)	トイレットペーパー	(45)	男子用シャツ・セーター類	(50)
	浴用・洗顔石けん	(52)	自動車購入	(6)	ワイシャツ	(45)
	医療保険料	(49)	幼児・小学校補習教育	(32)	感冒薬	(38)
			玩具	(52)	胃腸薬	(50)
			音楽・映像用未使用メディア	(47)	外傷・皮膚病薬	(51)
			化粧クリーム	(51)	バス代	(49)
			化粧水	(42)	自動車等関連用品	(29)
			乳液	(49)	歯ブラシ	(50)
			ハンドバッグ	(7)		
			世帯主こづかい	(13)		
3年平均	都市ガス	[51]	トイレットペーパー	[51]	民営家賃	[51]
	カーテン	[50]	胃腸薬	[52]	ガス代	[51]
	背広服	[47]	整骨（接骨）・鍼灸院治療代	[45]	タオル	[51]
	男子用ズボン	[50]	マッサージ料金等（診療外）	[49]	ポリ袋・ラップ	[52]
	帽子	[45]	バス代	[52]	芳香・消臭剤	[49]
	感冒薬	[52]	航空運賃	[49]	和服	[40]
	携帯電話機	[32]	レンタカー・カーシェアリング料金	[45]	子供用靴下	[48]
	パソコン	[40]	ペット・他のペット用品	[41]	外傷・皮膚病薬	[52]
	ノート・紙製品	[44]	理美容用電気器具	[34]	玩具	[51]
	たばこ	[49]	医療保険料	[50]	歯ブラシ	[52]
					浴用・洗顔石けん	[50]
					歯磨き	[48]
					化粧クリーム	[51]
				乳液	[51]	
				口紅	[42]	
				祭具・墓石	[48]	

主な品目の他の都道府県庁所在市等との比較（3年平均）

もち

順位	都道府県	金額（円）
1	金沢市	3,065
2	福井市	2,786
2	富山市	2,786

さしみ盛合わせ

順位	都道府県	金額（円）
1	北九州市	7,148
2	福井市	6,275
3	福岡市	5,996

さといも

順位	都道府県	金額（円）
1	山形市	1,896
2	福井市	1,524
3	新潟市	1,424

こんぶ

順位	都道府県	金額（円）
1	富山市	1,594
2	福井市	1,454
3	山形市	1,230

大豆加工品

順位	都道府県	金額（円）
1	盛岡市	17,251
2	富山市	16,389
3	福井市	15,763

油揚げ・がんもどき

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	5,593
2	金沢市	4,253
3	富山市	4,240

こんぶつくだ煮

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	1,947
2	山形市	1,731
3	富山市	1,715

ふりかけ

順位	都道府県	金額（円）
1	富山市	2,580
2	福井市	2,217
3	山口市	2,193

ようかん

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	1,466
2	佐賀市	1,250
3	東京都区部	1,225

コロッケ

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	3,216
2	大津市	3,020
3	富山市	2,966

カツレツ

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	4,039
2	富山市	3,462
3	甲府市	3,052

天ぷら・フライ

順位	都道府県	金額（円）
1	福井市	17,456
2	富山市	16,414
3	新潟市	16,023

やきとり

順位	都道府県	金額（円）
1	青森市	4,356
2	福井市	3,834
3	さいたま市	3,478

利 用 者 の た め に

1 調査の概要

(1) 調査の目的

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を明らかにし、国の経済政策、社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的としています。

(2) 調査の対象

家計調査は、学生の単身世帯を除いた全国の全世帯を対象としています。

なお、下記に掲げる世帯は、世帯としての収支を正確に測ることが難しいなどの理由から、除外しています。

- ・ 外国人世帯
- ・ 料理飲食店、旅館または下宿屋を営む併用住宅の世帯
- ・ 賄い付きの同居人がいる世帯
- ・ 住み込みの営業上の使用人が4人以上いる世帯
- ・ 世帯主が長期間(3か月以上)不在の世帯

(3) 調査の方法

学生の単身世帯等を除いた全国の世帯から抽出し、選定した約9,000世帯を調査し、その結果から全国の世帯の家計収支を推定する標本調査です。

(4) 調査世帯の選定

国勢調査の結果を用いて、全国の市町村を地理的位置、人口の規模、産業的特色などの特性を考慮して層別し、各層から1市町村ずつ(全国で168市町村)を抽出します。

次に、抽出された市町村内に設置されている国勢調査の調査区に基づいて調査単位区を設定し、全国で1,358単位区を無作為に抽出します。そして、その単位区に住んでいる世帯の中から無作為に調査世帯を抽出する、層化3段抽出法に基づき選定しています。

調査単位区では1年間調査が行われ、二人以上の世帯は6か月間、単身世帯は3か月間の調査期間終了後、次の世帯と交替します。

福井県では、二人以上の世帯を120世帯(福井市96世帯、敦賀市24世帯)、単身世帯を10世帯(福井市8世帯、敦賀市2世帯)の計130世帯を調査しています。

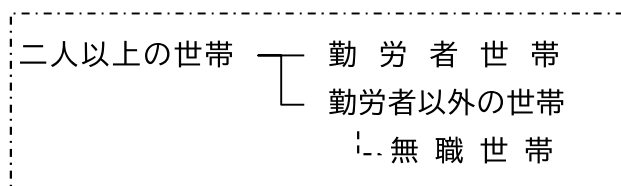
(5) 調査の内容

調査世帯に毎日「家計簿」をつけてもらい、勤労者世帯と無職世帯は、収入と支出を、その他の世帯は、支出のみを調査します。

また、年間収入や、貯蓄等の調査も行っています。

(6) 調査世帯の区分

- ア 勤労者世帯・・・世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などで雇われて勤めている世帯
- イ 勤労者以外の世帯・・・世帯主が自営業者、個人営業者や、会社役員、社長など使用者側にある世帯、無職世帯など、勤労者世帯以外のすべての世帯
- ウ 総世帯・・・・・・・・二人以上の世帯と単身世帯を合わせた世帯



2 用語の説明

- 1) 世帯・・・住居および生計を共にする人の集まり
2) 世帯主・・・その世帯の主たる収入を得ている人 () 「3 家計収支関連図」参照

- 3) 実収入・・・税込みの現金収入（経常収入+特別収入）
4) 実収入以外の収入・・・現金が入るが、資産の減少または負債の増加が生じるもの
5) 実支出・・・消費支出と非消費支出を合計したもの
6) 消費支出・・・日常生活に必要な支出で、仕送り金や贈与金も含まれる
7) 非消費支出・・・税金、社会保険料など世帯の自由にならない支出
8) 実支出以外の支出・・・現金が支出されるが、資産の増加または負債の減少が生じるもの

- 9) 可処分所得・・・手取収入（実収入-非消費支出）
10) 黒字・・・マイナスの場合は赤字を示す（実収入-実支出）
11) 貯蓄純増・・・（預貯金預入-預貯金引出）+（保険掛金-保険取金）
12) 平均消費性向・・・生活の余裕の度合いを表す指標（一般に収入の高い世帯ほど、小さくなる）

$$\frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 13) 黒字率・・・家計の余裕の度合いを計る指標

$$\frac{\text{黒字}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 14) 平均貯蓄率・・・ $\frac{\text{貯蓄純増}}{\text{可処分所得}} \times 100$

- 15) エンゲル係数・・・生活水準の高低を表す指標（一般にエンゲル係数が低いほど生活水準が高い）

$$\frac{\text{食料}}{\text{消費支出}} \times 100$$

- 16) 実質金額指数・・・ $\left(\frac{\text{今年の金額}}{\text{令和2年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{100} \right) \times 100$

- 17) 名目増加率・・・前年の金額に対する今年の金額の伸びのこと

$$\left(\frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} - 1 \right) \times 100$$

- 18) 実質増加率・・・名目増加率から物価の上昇分を除いたもの

消費支出の各項目ごとの実質増加率は次式により求めている。

$$\left(\frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{\text{前年の消費者物価指数}} - 1 \right) \times 100$$

ただし、「実収入」、「可処分所得」、「消費支出」、「その他の消費支出」、「こづかい(使途不明)」、「交際費」および「仕送り金」は消費者物価指数の「持家の帰属家賃を除く総合」、「家賃地代」は「持家の帰属家賃を除く家賃」を用いている。

3 家計収支関連図

収入総額	実収入	経常収入	勤め先収入	世帯主収入 世帯主の配偶者の収入 他の世帯員収入
			事業・内職収入	家賃収入 他の事業収入 内職収入
			他の経常収入	財産収入 社会保障給付金 仕送り金
	特別収入	受贈金 その他		
	実収入以外の収入		預貯金引出金 保険取金 有価証券売却 土地家屋借入金 他の借入金 分割払購入借入金 一括払購入借入金 財産売却 その他	
	繰入金			
支出総額	実支出	消費支出	食料 住居 光熱水 家具・家事用品 被服及び履物 保健医療 交通・通信 教育 娯楽 その他の消費支出	
		非消費支出	勤労所得税 個人住民税 他の税料 社会保険料 他の非消費支出	
		実支出以外の支出		預貯金 保険掛金 有価証券購入 土地家屋借金返済 他の借金返済 分割払購入借入金返済 一括払購入借入金返済 財産購入 その他
		繰越金		



令和5年
家計調査概要
福井市の家計

令和6年3月発行

編集・発行 福井県
未来創造部統計調査課
人口統計グループ

〒910-8580
福井市大手3丁目17番1号
電話 0776-20-0273 (直通)
0776-21-1111 (代表)
内線 2376

福井県統計調査課ホームページ

福井県家計調査

検索